

## ご使用の前に



- ・ご使用の前には本使用説明書や「安全にお使いいただくために」を必ずお読みください。またその内容をご理解の上正しくご使用ください。
- ・お読みになったあとも保管し、必要に応じてご活用ください。

# Canon

## HS-1200TL



使用説明書

## 電源

本機は、太陽電池と内蔵電池の2電源を併用しています。電源は周囲の明るさにより自動的に太陽電池または内蔵電池に切り替わりますので、照度の弱い所でもご使用いただけます。

- ※ 内蔵電池は長時間にわたりご使用いただけます。内蔵電池が寿命になっても、太陽電池計算機としてご使用になれますが、引き続き内蔵電池でご使用になりたい場合は、パーソナル機器修理受付センターに電池交換をご依頼下さい。
- ◆ 本機は電池の消耗を防ぐため、約7分間操作を行わないと、自動的に電源が切れ、表示が消えます(オートパワーオフ機能)。この場合は **ON** **CA** を押すと再び電源が入ります。

## 仕様

型式 : キヤノン 「HS-1200TL」  
表示 : 液晶表示12桁  
演算桁数 : 置数、被演算数、演算数 : 12桁 結果 : 上位桁優先12桁  
使用温度範囲 : 0℃～40℃  
外形寸法 : 175mm (奥行) x 123mm (幅) x 33mm (高さ)  
重量 : 145.5g (電池含む)  
電源 : 太陽電池およびアルカリ電池LR44X1

※改良のため、予告なく仕様の変更をおこなうことがあります。

## ⚠ 安全にお使いいただくために

- ※ 直接日光の当たるところや、急激な温度変化のあるところ、湿気、ごみ、ほこりの多いところでのご使用はお避けください。
- ※ 計算機をふくときは乾いた柔らかい布をお使いください。絶対にシンナーやベンジン、ぬれ雑巾等はお使いにならないでください。
- ※ 液晶表示部はガラスでできていますので、強く押さえないでください。割れることがあります。
- ※ 強いショックを与えたり、本機の上に本などの重いものを置かないでください。大きな力が加わると壊れることがあります。
- ※ 低温の場所で使用すると、液晶表示の応答が幾分遅くなるがありますが、これは液晶の性質によるもので故障ではありません。
- ※ 乾燥した天候や使用時の摩擦等により、静電気の影響で液晶画面に黒線や残像などが残ることがありますが、使用に影響はありません。また、それらの表示は時間経過により消えます。
- ※ 本体を分解しないでください。万一、異常が感じられたら、販売店またはパーソナル機器修理受付センターにご相談ください。

## 製品取扱い方法ご相談窓口

### キヤノンお客様相談センター

(全国共通番号) 050-555-90025

[受付時間] 平日・土 9:00 ~ 17:00

休業日: 日・祝日、1月1日～3日、12月31日

※上記番号をご利用頂けない場合は、043-211-9632をご利用ください。

## 修理お問い合わせ専用窓口

### パーソナル機器修理受付センター

(全国共通番号) 050-555-99088

[受付時間] 平日・土 9:00 ~ 17:00

休業日: 日・祝日、1月1日～3日、12月31日

※上記番号をご利用頂けない場合は、043-211-9317をご利用ください。

- ※ IP電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによってはつながらない場合があります。
- ※ 上記記載内容は、都合により予告なく変更する場合があります。予めご了承ください。

本機を廃棄する際は、地方自治体の条例に従って処理をするようお願い致します。詳しくは各地方自治体にお問い合わせください。

## キヤノンマーケティングジャパン株式会社

〒108-8011 東京都港区港南2-16-6 お問い合わせ先 050-555-90025

© CANON ELECTRONIC BUSINESS MACHINES (H.K.) CO., LTD. 2019

PRINTED IN CHINA

# スイッチとキーの説明

**小数点スイッチ**：演算結果の小数点以下の桁数を指定するスイッチです。指定位置は小数点以下0、1、2、3、4桁、F(浮動小数点)及び+(アド・モード)です。

例：小数点以下2桁指定 (四捨五入スイッチは $\frac{1}{100}$ に設定)  
 $1 \square 234 \oplus 456 \square ( 457.23)$

◆+(アド・モード)：加減算の置数の小数点位置を、自動的に小数点以下2桁に指定します。 $\square$ を押す必要がなくドル計算などに便利です。ただし、以下の場合は無効となります。

- A. 加減算以外の計算を行った場合。
- B. 置数の際に $\square$ を使用した場合。

◆F(浮動小数点)：小数部の桁数を指定せず、答えを12桁まで表示します。

**四捨五入スイッチ**：演算の結果を求めるときに、指定した小数桁の次の桁を切上げ、(↑)、四捨五入(5/4)、切捨て(▼)のいずれかに指定するスイッチです。

例： $1.234 \times 5.8 = 7.1572$

切上げ  $\frac{1}{100}$   $1.234 \times 5.8 \square ( 7.16)$   
 四捨五入  $1.234 \times 5.8 \square ( 7.16)$   
 切捨て  $1.234 \times 5.8 \square ( 7.15)$

**ON CA** 電源オン / クリアオールキー：電源を入れるときに押すキーです。計算中にこのキーを押すと、メモリも含めたすべての計算をクリアします。(税率はクリアされません。)

**CI/C** 入力訂正 / クリアキー：入力した数値を訂正するキーです。誤って数値を入力した直後にこのキーを押すと、表示がクリアされるので、正しい数値を入力しなおすことができます。2回続けて押すと、計算途中の内容をすべてクリアできます。(メモリ計算の内容はクリアされません。)

**→** シフトキー：表示された数値を1桁ずつ矢印の方向にすらし最下位桁をクリアするキーです。誤って入力したときに、1桁ずつ訂正することができます。

**↔** サインチェンジーキー：表示数値の符号を反転させるキーです。

## メモリ計算

**M±** メモリプラスイコールキー：数値または演算結果をメモリに加算するときに使用します。

**M-** メモリマイナスイコールキー：数値または演算結果をメモリから引くときに使用します。

**RM/CM** リコールメモリ / クリアメモリキー：1回押すとメモリ内の数値を呼び出します。2回続けて押すとメモリ内の数値をクリアします。

## 計算しましょう

※計算を始める前に、必ず**CA**キーを押してください。  
 ※スイッチ指定のない計算例は、すべて $\frac{1}{100}$ 「浮動小数点」、 $\frac{1}{100}$ (四捨五入)に設定してあります。

計算例	操作	表示
<b>混合計算</b> $140 - 25 + 22 = 137$ $-9 \div 5 \times 3.2 + 7 - 1 = 0.24$ $(2+4) \div 3 \times 8.1 = 16.2$	<b>CA</b> $140 \square 25 \square + 22 \square =$ $9 \square \div 5 \square \times 3.2 \square + 7 \square - 1 \square =$ $2 \square + 4 \square \div 3 \square \times 8.1 \square =$	( 0.) ( 137.) ( 0.24) ( 16.2)
<b>入力訂正の例</b> (誤) $2 \times 2 \rightarrow$ (正) $2 \times 3 = 6$ (誤) $152 \times \rightarrow$ (正) $152 + 99 = 251$ (誤) $123455 \rightarrow$ (正) $123456$	$2 \square \times 2 \square \rightarrow 3 \square =$ $152 \square \times \square + 99 \square =$ $123455 \square \rightarrow 6 \square =$	( 6.) ( 251.) ( 123'456.)
<b>アド・モード計算</b> $\$ 14.90$ $\$ 0.35$ $\$ 1.45$ $\oplus) \$ 12.05$ $\$ 28.75$	$1490 \square + 35 \square + 145 \square +$ $1205 \square =$	( 28.75)
<b>開平(ルート)計算</b> $\sqrt{3} = 1.73205080756$	$3 \square \sqrt{\square} =$	(1.73205080756)
<b>定数計算</b> $2+3=5$ $4+3=7$ $1-2=-1$ $2-2=0$ $2 \times 3 = 6$ $2 \times 4 = 8$ $6 \div 3 = 2$ $9 \div 3 = 3$	$2 \square + 3 \square =$ $4 \square + 3 \square =$ $1 \square - 2 \square =$ $2 \square - 2 \square =$ $2 \square \times 3 \square =$ $2 \square \times 4 \square =$ $6 \square \div 3 \square =$ $9 \square \div 3 \square =$	( 5.) ( 7.) ( -1.) ( 0.) ( 6.) ( 8.) ( 2.) ( 3.)
<b>パーセント計算</b> ① 300の27%は? $300 \times \frac{27}{100} = 81$ ② 11.2は56の何%? $\frac{11.2}{56} \times 100 = 20$	$300 \square \times 27 \square \% =$ $11 \square \div 56 \square \% =$	( 81.) ( 20.)
<b>割増し計算</b> $1,200 + (1,200 \times 17.5\%) = 1,410$	$1200 \square + 17 \square \div 5 \square \% =$	( 1'410.)
<b>割引き計算</b> $1,200 - (1,200 \times 17.5\%) = 990$	$1200 \square - 17 \square \div 5 \square \% =$	( 990.)
<b>メモリ計算</b> $3 \times 4 = 12$ $\ominus) 6 \div 0.2 = 30$ $-18$ $\oplus) 200$ $182$	<b>CA</b> $3 \square \times 4 \square [M\pm] =$ $6 \square \div 0.2 \square [M\pm] =$ $200 \square [M\pm] =$ $182 \square [M\pm] =$	( M 12.) ( M 30.) ( M -18.) ( M 200.) ( M 182.)
<b>自乗・べき乗</b> $4^3 = 64$	$4 \square \times \square =$ (×のあと、続けて <b>□</b> キーを(n-1)回押すとn乗が得られます。)	( 64.)
<b>逆数計算</b> $\frac{1}{2} = 0.5$	$2 \square \div \square =$ (÷ <b>□</b> を続けて押すと逆数を求めることができます。)	( 0.5)

## <計算状態表示機能>

四則演算のキー入力に対応して、 $\oplus \square \square \square \square \square \square \square \square \square \square \square \square \square \square$ が画面に表示されるので計算状態が一目でわかり、計算ミスを防ぐことができます。

## 税計算

計算例	操作	表示
<b>税率の設定(例:8%に設定)</b>	<b>CA</b> 8 <b>税率</b> <b>設定</b> <b>税込</b>	( 税率 8.)
<b>税率の確認(税率8%のとき)</b>	<b>CA</b> <b>税率</b> <b>確認</b> <b>税抜</b>	( 税率 8.)
<b>税率設定のポイント</b> (1) 8を入力すると8%、10を入力すると10%の税率を設定することができます。(任意の数字を入力して任意の税率が設定できます。) (2) <b>CA</b> <b>税率</b> 8 <b>税込</b> の順に入力しても税率設定ができます。(例:税率8%に設定)		
<b>税込計算</b> 税抜表示額2,000円の場合の税込額/税額を求めます。(税率は8%に設定)		
税込額 = ?	2000 <b>設定</b> <b>税込</b>	( 税込 2'160.)
税額 = ?	<b>設定</b> <b>税抜</b>	( 税額 160.)
<b>税抜計算</b> 税込表示額3,240円の場合の税抜額/税額を求めます。(税率は8%に設定)		
税抜額 = ?	3240 <b>確認</b> <b>税抜</b>	( 税抜 3'000.)
税額 = ?	<b>確認</b> <b>税抜</b>	( 税額 240.)
※ <b>設定</b> <b>確認</b> <b>税込</b> / <b>税抜</b> を押すごとに、税込額/税抜額 ↔ 税額を表示します。		

## オーバーフロー

次の場合は、オーバーフローサイン(E)を表示して、以降の置数、演算を停止します。オーバーフローは**□**を押して解除してください。

- (1) 入力または演算結果の整数部が12桁を超えた場合  
 演算結果は上位12桁のみを表示し、下位桁はカットされます。そのときは演算結果に小数点が表示されます。最上位桁から小数点までの桁数を数えると、カットされた下位桁の桁数を知ることができます。

計算例	操作/表示
$123,456,789,012 \times 10,000 = 1,234,567,890,120,000$ エラー →	$123456789012 \square \times 10000 \square =$ ( E 1'234.56789012)

- (2) メモリ内容の整数部が12桁を超えた場合 (Mが点滅します。)  
 メモリがオーバーフローしたときは、**□** **□**を続けて押すとオーバーフローする直前のメモリ内容を呼び出すことができます。  
 ◆オーバーフローした計算結果はメモリに累積されません。

操作	表示
$333333333333 \square \times 3 \square [M\pm] =$	( M 999'999'999'999.)
$123 \square \times 456 \square [M\pm] =$	( M 1.00000005608)
$\square \square [RM/CM] =$	( M 0.)
$\square \square [RM/CM] =$	( M 999'999'999'999.)

- (3) 除数が0の除算を行った場合

操作	表示
$200 \square \div 0 \square =$	( E 0.)